

THE KOBECCO

JUNE No. 314

1987 6月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和62年6月1日印刷 通巻314号 昭和62年6月1日発行
毎月1回1日発行



海と空と太陽とが、
やさしく溶けあうまぶしい時間。
その自然の息吹きにときめきを感じたら、
潮騒の甘いメロディと光のプリズムを
五線譜になおして、
シーサイド・コンサートをはじめましょう。
さざめぐりズムに乗って指先でタクトを
ふれば、「わたし」はマーメイドの気分。
鮮やかに広がるイマジネーションを
背景にして、
バカンスが見せてくれた陽気な
夏のファンタジーに、乾杯……。



陽気なマーメイド・バカンス。

●バカンスのマーメイド・シーナリオ
●アーティスト・モデル・ダンサー
●

 **BENIYA**

KOBE OSAKA TOKYO

神戸 エルべ店 078-332-2829
さんちか店 078-321-2678
大阪 三番街店 06-374-0137
近鉄店 06-773-1117
ミナミ店 06-213-6128
ナビオ店 06-316-1303

おとなだから、遊びがわかるのです。



田崎真珠

インターナショナルパールデザインコンテスト金賞受賞●ネックレス／真珠、ダイヤモンド／K18.Pt

●いろいろな特典のあるプラスワンカードの会員募集中です。●この広告のお問い合わせは田崎真珠㈱企画広報部(TEL078-302-3321)まで

一つぶ
一つぶに美の宇宙が秘められて
いる…。



www.kinoshitapearl.com

KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078)221-8170

10:00AM~6:00PM (無休)

Second Cover

“顔”シリーズ〈6〉ギリシャ(アトネ)

昨夜アテネの街角で見かけた娘さんは、古代遺跡の劇場で
良く立ちまわっていた、あの舞姫に違いない。

中西勝
(一紀会)



6/5(金)まで ウッディ・アレン最新作
ハンナとその姉妹

6/6(土)より ポカリスエットムービーキャラバン第1回作品

風見 慎吾 主演

あいつに恋して

11:55 2:00 4:05 6:10



(これからのお映画)

原作・監督・音楽 松本 隆

微熱少年

神戸を舞台に恐怖が少年達を襲う



漂流教室

リビング・モーニングシアター 期間中9:30上映

6/1~6/5

恋におちて

6/8~6/12

火宅の人

6/15~6/19

日曜日が待ち遠しい

6/22~6/26

細雪

5/30(土)~6/19(金)

恋する女はいつも美しく危険だ
フランチェスコ・ロージ監督

カルメン

10:25 1:05 3:45 6:25

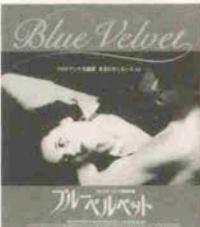


6/20(土)より

「エレファント・マン」の
デビット・リンチ監督作品

ブルー・ベルベット

11:40 2:00 4:20 6:40



(これからのお映画)

核戦争の恐怖を描いた

風が吹くとき

S・スピルバーグ製作総指揮

アメリカ物語



特別鑑賞券発売中

一般1,200円 学生1,100円

3番組通しの回数券3,000円

(当日一般1,500円 学生1,300円)



神戸新アサヒ劇場 三ノ宮アサヒシネマ

三宮、中央区役所北側

078-251-9877

気品に満ちたパールの輝き
レディ
永遠の淑女へ…。



株式会社 大月真珠

本社

神戸市中央区港島中町6丁目4番1
TEL.(078)303-2111(代表)

東京支店

東京都中央区銀座5丁目9番1号(銀座幸ビル)
TEL.(03)571-7443(代表)



演出家はあなたです!

- コンサート ●展示会 ●ファッションショー
 - 講演会 ●シアター
 - そしてパーティなど
- 《パルレホール》は多彩に利用できる可能性を秘めた多目的ホールです。神戸ポートアイランドのファッションタウンは夢の島。未来都市にふさわしいあなたの演出を…。

OTSUKI PALRE HALL



グルメ派もときには
気分をかえてジュエリーを

Tajima
宝飾店 タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

映像の世界に殴り込み

鵜殿洋子

(株T・O・P代表取締役) カメラ・松原卓也

今年の2月14日、大安とバレンタインデーと一粒万倍日が重なった日に、株式会社T・O・P(東京オリジナルブランディング)を設立。映像関連業務を主体にTV番組企画制作、広告代理店業務等を遂行する会社である。神戸出身。家業である花嫁の料亭「松の家」を手伝うかたわら、仲間と共に、オリジナルカードの製作販売をはじめ、タッパー・ウェアのセールス、俳優プロダクション、旅行代理店と、様々な仕事をしてきた。そして今度、家業を弟夫婦に全面的に任せ、5年前からやってきた映像関係の仕事を、株式会社として正式にスタートさせることに……。現在、テレビ東京で放映中の番組「デザート美味俱楽部」の制作や、企業8社あまりのCF制作などを、8名のスタッフで頑張ってやっている。毎晩徹夜の連続で睡眠時間も平均3時間というハードさ。「温泉に入つてゆっくり寝ること」が目下の夢。

「美しい映像を創りたい」：その熱意から始めたこの仕事、死ぬまで続けたいと語る。大手の会社でできない手づくりの良さで、映像の世界に挑戦する。東京都在住。

(京橋にて)



~~~~~新発売~~~~~

## 彩るふる里の味



### 果肉入高級ゼリー

さんくいーん、いちじく、うめ  
ゆず、もも、わいん

9ヶ入 ¥2,000 14ヶ入 ¥3,000

——北欧の名菓——

### ユーハイム・コンフェクト

本社 神戸市中央区熊内町1-8-23 ☎221-1164

こんにちは赤ちゃん



高野 こうすけ 公佑くん/神戸市中央区  
おもちゃがあれば、ゴキゲン  
完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大浜町1番18号

芦屋保健所東隣

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

# DIRECTOR IS KING? 弘中謙

(読売テレビ放送・ディレクター) カメラ・松原卓也

TV局のディレクターといえば現場のボス的存在。さぞイカツイおじさんが出てくるだろうと思つていると、これが違つていた。「なんでまた僕みたいな駆け出しを取材するんですか?」照れて紅潮した童顔と、同じく真赤なボロシャツ姿はどう見ても大学生。とてもあの「11PM」や「今夜なに色?」を切り回わす「ボス」には見えない。昭和33年神戸生まれというから、今年29才。慶應義塾大学文学部卒業後、宝塚歌劇の演出家を目指したが挫折。YTVに入社した。一年間の営業の後、ディレクターとして制作部へ。オールナイトものを皮切りに、2年目には「今夜なに色?」、昨年9月からは「11PM」と、同局の夜の目玉番組を次々とこなす辣腕ぶりを見せる。

「ディレクター・イズ・キング」なんてとんでもない。タレントさんもエンジニアの人もベテランばかりで、僕なんか毎日頭下げっぱなしですよ。」と孤軍奮闘の新人類ディレクターだが、将来の夢は大きい。「関西の番組つてお笑い中心の低コスト路線が主流でしょ、将来はタレントのパワーに頼るんじゃなくて、自分で作っていく番組をやりたいですね。お金をうんと使ってね。」と目を輝かせる。女性タレントとのロマンスには今のところ縁はないが、かねてよりの恋人と今月結婚。「11PM」の録画放送期間を利用して、チャッカリ3週間のハネムーン休暇をとった。

(神戸市垂水区在住、コントロールルームにて)



## 知事さんより幸せ

佳生流家元 西村雲華

いけばな展を見るのに金(入場料)がいる。昔は考えられないことだつた。今はそうしないと観客動員ができない。さんちかホールは有料の催しができないので観客動員には弱い。

大きな経費を使って、人に見てもらつて喜んでいる、不思議な世界である。でも自分で楽しめ、人にもその美を分ち、心にやすらぎの一ときを過してもらう。

こんな尊い仕事はないんだ、毎日利害のからんだ話に耳をかたむけている知事さんに比べればはるかにしあわせなんだと自分をなぐさめる。

花の心をと寸暇を削いて貝原知事さんに立ち寄つてもらった。花を通じての文化活動、誰からも要求されないこの心の運動、貝原県政の片隅にちよつびり宿つていればと願つてゐる。

## ある集い□佳生流

- ▲前列左より▼  
根角美江華 河野則花 鳥本恵華 島元夫人 貝原県知事 西村公延副家元  
高橋恂華 高井翠花 神戸支部長
- ▲二列目左より▼  
加藤昂華 招瑞華 河合三雲理事長  
柳美華
- ▲三列目左より▼  
谷紀華 堀俊華 榊陽華
- ▲四列目左より▼  
藤本芳華 杉尾美加 杉尾知奈美 実佐子
- ▲五列目左より▼  
今井昌華 北浦県生活文化課長 広瀬真華



## 家元継承三十周年記念花展

未生流（庵家）副家元

佐伯 治甫



ある集い□未生流(庵家)

二年一度の割合いで流れを上げての「いけばな展」が開かれる。家元を中心に、神戸、大阪をはじめ、宮崎や東京、石川などに在住する門下生が一同に集う。今回、そごう神戸店に於て、四月十日から十五日まで開かれたいけばな展は、九代家元継承三十周年記念展であつたため集いの輪も大きかつた。出版者五七三名という大規模なもので、家元の三十年を門下生がそれぞれの立場、それぞれの持ち味を生かして心から祝つていた。また、前期展、後期展あわせて四〇〇点にのぼる作品の一作、一作には、家元の記念行事を成功させようという意気込みが感じられ嬉しかった。当流は江戸時代後期に未生流を創流した流祖未生斎一甫の晩年の号、未生庵一甫を九代にわたって繼承する伝統華道流派であるが、流祖が「いけばなを通して人の道のあるべき姿」を説いていたり、和の精神を伝統としている。花を愛する心、人を愛する心、流を愛する心が今回のいけばな展を盛り上げる最大の原動力となつた。次の大きな集いは八月、神戸文化ホールで開かれる夏期講習会であるが、一人として変わることなく元気に再会出来ることを願つている。

▲前列左より▼

橘雅甫 家元夫人 佐伯一甫家元 佐

伯治甫副家元 林加寿園

大西靖圃 大西正甫 上田政圃 藤本  
萬圃 浜野公圃 大岡宮園 由比光圃  
山本賀津圃 平井正圃

新しい関西を創造する総合雑誌

# オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読) 6月号

## 特集

1.いま、北浜が面白い。

財テク、マネーボームが盛んにもてはやされている昨今、「ここに本来の大坂がある」といわれている「北浜」の姿を追う。

2.てんのじ界限と天王寺博

天王寺博覧会を前に「もち味」を磨きつつ変貌を遂げようとしている、天王寺界隈。界隈という言葉がぴったりの天王寺の町模様、人間模様を探ってみます。そして天王寺博の全容も紹介。

話題を追う

- 六甲アイランドシティ
- 宇治のお茶
- パールシティ神戸

新連載  
花と緑の博覧会 NOW  
・関西百撰会ギャラリー  
・上方味覚紀行  
・日本の宝との出会い



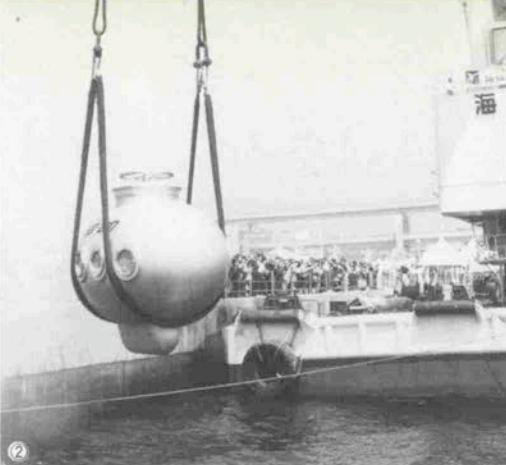
▲スターハイライト  
**松本恵二**(レーサー)

◀ピックインタビュー  
**宇野 收**  
(関経連次期会長)

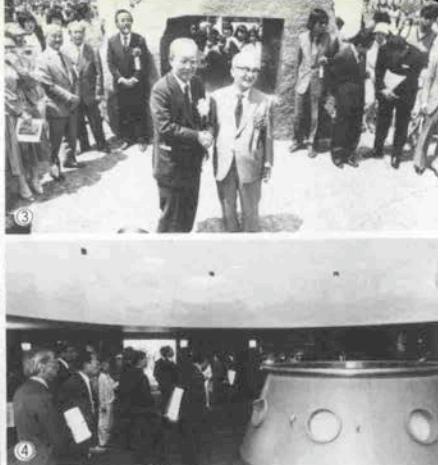
- 創造の世界／阪大細胞工学センター
- 名医に聞く□孟さんの新風俗記
- 大阪の曲がり角□玄妙禅談／禅即生活・生活即禅
- 男のうしろ姿・わが親父論
- カルチャーカレンダー
- 住宅情報
- 経済人インタビュー／木暮剛平(電通社長)
- PEPE
- 程さんのうんちく料理塾／サラダ
- 当世川柳ばなし
- タウンジャーナル
- パーティー&シンポジウム
- オラクル
- らいぶサロン



①



②



③



④

①広大なメリケンパークの全貌②30年後に引き揚げられるタイムカプセル③メリケンシアター完成を祝う淀川長治さんと宮崎市長④360℃のスクリーンを有する海洋博物館

## ★華やかに今、 ポート・ルネッサンス! ●コウバスナップ

### ★“海の女王”ロイヤルプリンセス号 神戸港に初入港！

①トワイライトに映える豪華な船影②初めての神戸に見入る船客たち。



①



②

神戸開港120年の春も盛りの4月29日、“港の復興”をテーマに建設されていたメリケンパークが、ついにオープンの運びとなった。甲子園球場が4つも入るという広大な敷地には、中心施設の海洋博物館をはじめ、多目的ホール、「フィッシュ・ダンス」メリケンシアターなどが設置され、市民と港を結ぶスペースとして機能する。当日は各施設のオープニングセレモニーや記念コンサートに大勢の人々が詰め駆け、盛大で華やかな式典となった。

神戸開港120年を記念して、イギリスの豪華船「ロイヤル・プリンセス」号(44,348t)が、4月23日(木)神戸港に初入港した。同船は、イギリス王室のプリンセス・ダイアナが命名し、世界で6番目に大きいとされている豪華客船ある。1984年に、フィンランドで340億円をかけて建造されたもので、神戸高さは神戸大橋に匹敵するほどである。その大きさと美しさは、まさに“海の女王”と呼ぶのにふさわしいものであった。

新しきクリエーター

# 美の小箱 梶滋

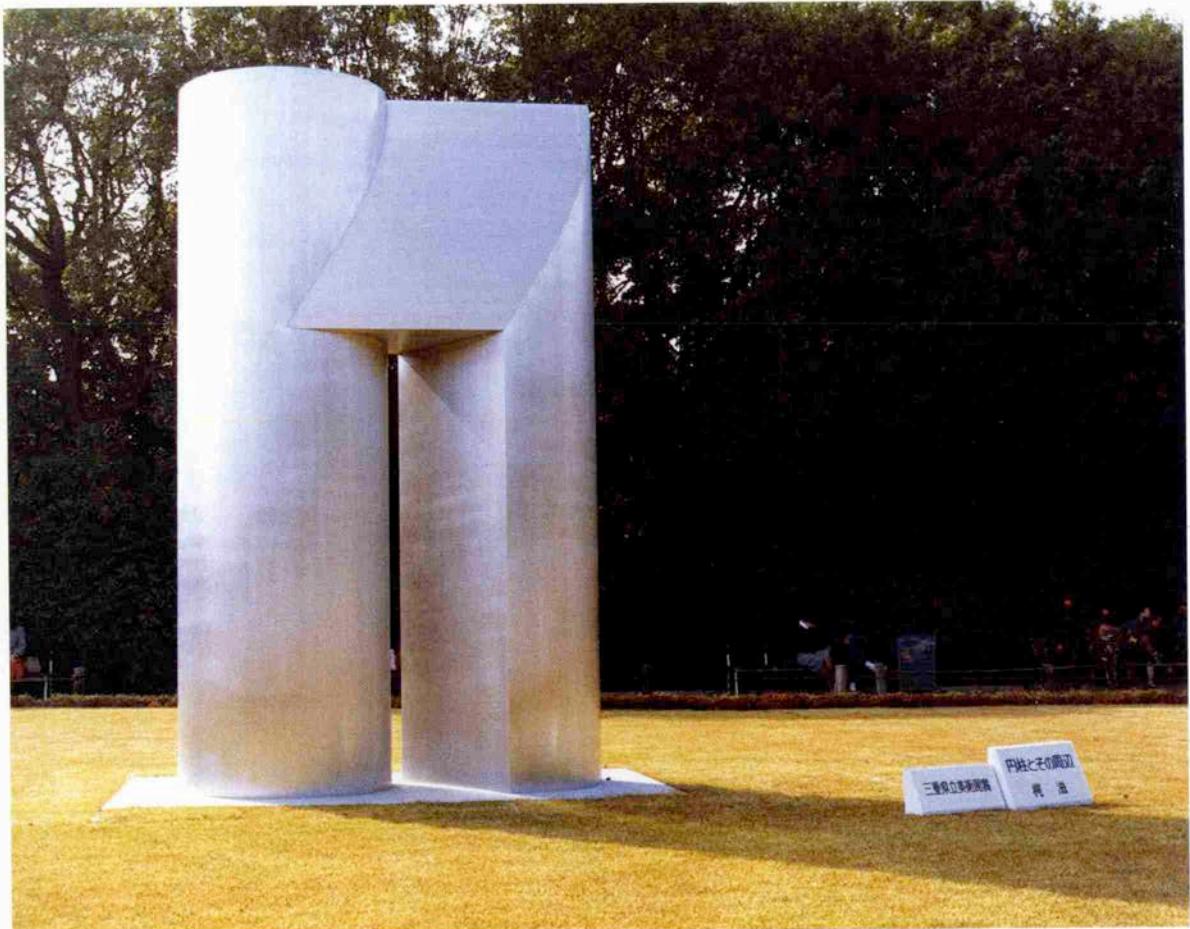
文・赤根 和生

（美術評論家）

作品は作者の分身である以上に、自画（刻）像だ。恐ろしいほど自己をもの語るからである。余剰を排し、簡潔にして要を盡した、梶の作品はとくにそうである。何年か前のローズガーデン・コンテストでは、展示床面の制約をまともに受けて小じんまりまとめた作品群を尻目に、床面はギリギリ、天井スレスレの長大な木彫でみごと大賞を射とめた。すべてに聰明、怜俐、効率性ゆたかである。

昨秋のビエンナーレのアルミによる『円とその周辺』のスマート、シャープさはそのまま彼自身であつた。単純、明快、幾何学的フォルムだが、どこか有機的な温かさを発散し、確固たる理論に支えられながらも理詰めな固さを免れているのは、ヒューマンな造形思考に貫かれているからだろう。裏（とくに抽象立体にあつてはウラは表でもあるのだが）にまわつてみると、思いもせぬ全く別の表情におどろかされよう。享受者にとつてはその意外性が醍醐味で、作家の苦しい楽しみもそこにあるはずだが、案外、正面性にこだわりシンメトリーにどっぷり、肩ひじ張つて記念碑性の威容を誇るものが多いから、よけい目立つ——それでいて回りにすんなりと馴染んでいる。

梶は時代の、そして彫刻のこころ（本質）をつかみ、材質の発言を自己に重ねうる作家である。戦後の今日は、『環境』の時代だが、環境性とは芸術の永遠性をうたう過去のモニユメンタリティに対する概念で、それらをすっぽり包んでしまう相関的なもの——梶こそ環境以後の新たなモニュメンタリティの旗手である。記念すべき第10回現代彫刻展は、初出品、初受賞の梶にとつても意義深いマイル・ストーンであるが、最近作（関西二紀会）でもその延長線上の一貫した展開がみられ、将来が大いに期待される。



円柱とその周辺 1986年  
梶 滋



1951年 神戸市生まれ  
1975年 神戸二紀展奨励賞 二紀展出品  
1979年 播州美術賞展・最優秀賞  
1982年 ローズガーデン美術賞展大賞  
1985年 二紀展受賞作家展(東京・松坂屋)  
1986年 神戸二紀展最優秀賞 関西二紀展会員賞  
神戸須磨離宮公園現代彫刻展・三重県立美術館賞  
関西二紀展会員賞 二紀会員展会員賞